

## 宮崎県漁協青壮年部連絡協議会 会長 中野 利勝

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、会員の皆様を初め、関係団体や行政の皆様方には多大なるご協力、ご高配を賜り誠にありがとうございました。

書面をお借りしお礼申し上げます。

本年もより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。



さて、我々漁青連は、会員相互の連絡調整を図り、漁協・関係団体と提携して会員の組織活動強化を促進し、県内水産業の発展と漁村文化の向上に寄与することを目的に活動を行っております。

昨年は、例年行っておりますリーダーシップの取れる会員養成を目的とした研修会の開催に加え、魚食普及活動の一環として、昨年に引き続き県庁楠並木通りで開催された朝市へ会員メンバーで参画し、県下会員が漁獲した生鮮水産物の販売活動を行い、会員間の絆を更に深めることが出来ました。

我が国水産業界では、昨年から発生した新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、外食産業の市場が縮小し、生鮮魚介類を扱う小売店の取扱も減少したことにより、多くの漁業者が操業を制限せざるを得ない状況になるなど、漁家経営に深刻な影響が発生しました。

そのような状況の中、国による影響緩和策等が打ち出され、感染防止対策や販路回復・開拓、経営継続のための取組が行われておりますが、昨年の12月には第3波が発生するなど未曾有の事態となり、長期化も懸念されることから、JFグループを通じて新たな経済対策の実施を今年度当初予算及び第3次補正予算等に盛り込むよう国に対し強く要請しました。

一方、県内におきましては、県内JF全体で2017年度より第二期目の基盤強化アクションプランに取り組んでおり、本年度は4年目を迎えております。

同プランにより、県内JFの事業・組織体制の改善が図られた部分もあれば、未だ課題等が残されている部分もあると認識しております。

我々漁青連としましても、全国組織である全国漁青連と情報共有を行い、JFグループが一丸となって、喫緊の課題である販売力の強化に取り組むとともに、会員の柔軟な発想と若い力を集結して、活動内容をより一層活性化させ、組織強化に努めて参りますので、引き続き皆様方のご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様方のご健康と航海安全並びに大漁を御祈願し、私の挨拶とさせていただきます。